

経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県府中市 府中市立湯が丘病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------|---------|---------|-----------|------------|
| 当然財務 | 病院事業 | 精神科病院 | 精神病院 | 非設置 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 1 | - | - | 臨 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 40,211 | 8,765 | 非該当 | 15:1 | |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

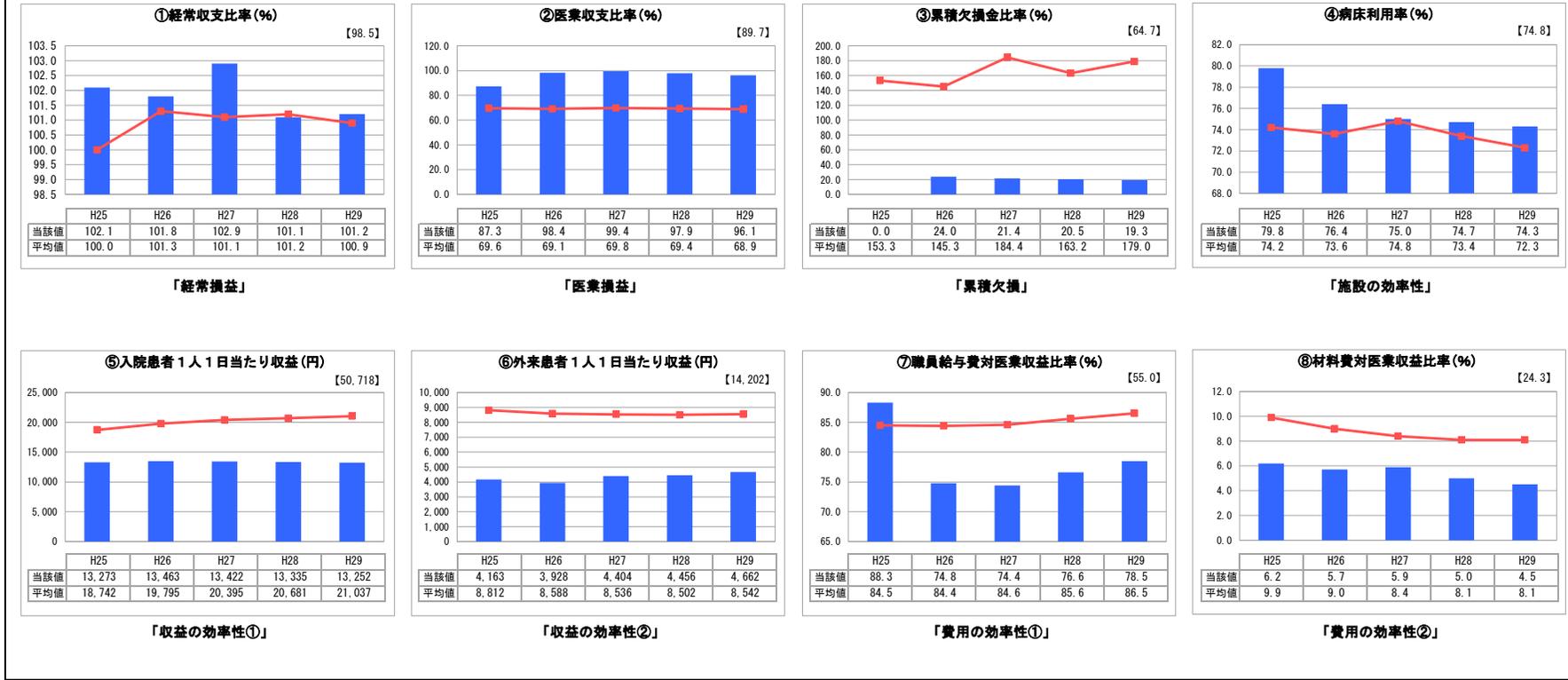
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| - | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| 308 | - | 308 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| - | - | - |

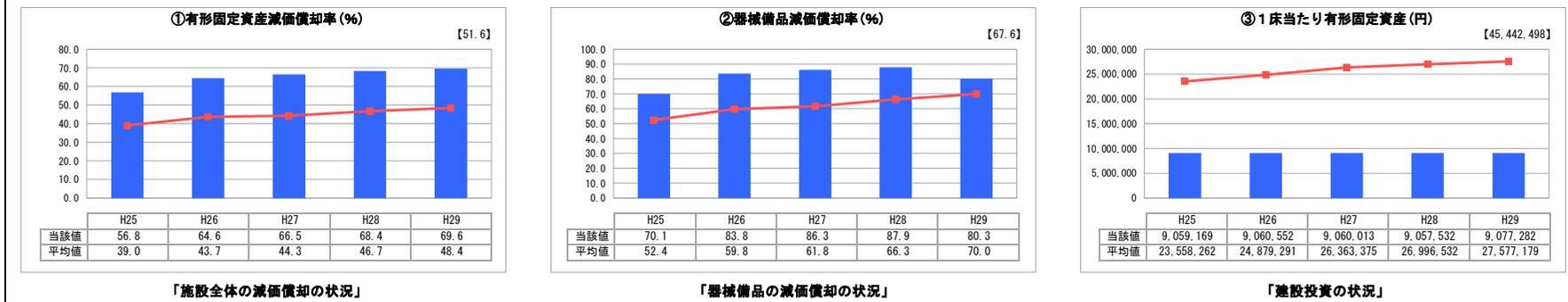
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

当院は、昭和36年の病院開設以来、多数の入院患者及び外来患者の治療にあたるとともに、市内の他の病院への医師派遣、行政等が主催する精神保健相談又は講演活動、研修医又は学生の受け入れなど、地域医療の貢献に積極的に取り組んでおり、広島県の東北部地域の精神科医療を提供する病院として重要な役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①の経常収支比率が100%を超えていること②の医業収支比率が90%代後半を維持していることに加え、類似病院のそれを大きく上回っていることから、本業の医業で一定程度の収益が確保され、比較的、一般会計からの繰入への依存度が低い経営が行われていることが窺える。次に、④の病床利用率の下降傾向、⑦の職員給与費比率の上昇傾向並びに⑤及び⑥の一人あたりの収益の横ばい傾向は、今後の経営において収益を圧迫する要因となるおそれがあることから、収益の増加又は費用の抑制につながる対策が必要である。

全体としては、入院及び外来の収益単価は低いが、経常収支が黒字であり医業収支比率も高水準にあることから、費用を抑制した効率的かつ健全な運営を行っていることとみることができる。

2. 老朽化の状況について

①の有形固定資産減価償却率及び②の器械備品減価償却率については、どちらも類似病院のそれを大きく上回っている。加えて、③の1床当たり有形固定資産については、類似病院のそれを大きく下回り横ばい傾向にある。

このことから、当院の施設及び機械に係る設備投資について、類似団体のそれと比較するとこれまで抑えられていたことは明らかで、施設の老朽化は確実に進んでいることが窺える。

なので、潜在する新たな設備投資に係る需要に対し、中長期的な視点からの設備投資計画に沿って機器等の更新を順次行っていく必要がある。

全体総括

④、⑤及び⑥から医業収益について著しい増加は見込めず、その一方で、⑦から経費の大部分を占める給与費比率は上昇が予想され、加えて施設の老朽化に伴う新たな設備投資に係る多大な費用の支出も控えていることから、今後は、厳しい病院運営が見込まれる。

なので、今安定した病院運営を行うため、収益面では特に病床利用率の向上が重要で関係機関と連携する等入院患者数の増加に取組み、また費用面では支払い科目の精査を行ったり、事務の効率化に取り組んだりすることで費用の抑制に努めるとともに、計画的に設備投資を進めることで、経常収支の黒字を目指す。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。